

うちの週末^{vol.4}

～気ままに子どもと森あそび♪～

こんにちは。御代田町在住のチェリーです。

今年初笑いした出来事。珍しくファッションカタログを見ていた私が息子たちに、「どんな服がかわいい？」と尋ねたところ、「スカート！！」と連攻で答えが返ってきました。さらに髪型については、巻き髪を絶賛。日頃の私は、ズボンしか履かないし、巻き髪なんてしない。テレビもない、雑誌も見ない我が家でどうやったらそんな理想像が育つのか……。 「ママも似合うかな？」と聞くと、「ママは世界で一番だから似合うよー♡」と1年生と年少の息子達。いやいや、いやいや、違うだろう。すごいですね、男の子のマザコンぶり。夫もさすがに苦笑い。それは違うだろうーと突っ込むほどのマザコンぶりに、大笑いさせてもらいました。息子の理想の母親像を開けましたので、いつか気が向いたらそんな服装で授業参観に出かけてみようかしら。

さて、今回は、我が家の冬の外遊びをご紹介します。真冬でも元気いっぱいの息子たち。スキーウエアを着て、外に出かけていきます。庭でかまくらや雪だるまを作ったり、家の前の急坂でソリをしたり、お隣の空き地で秘密基地を作ったり。特にソリ遊びは、坂が長く傾斜もあるので、なかなか楽しいようです。ただ、道幅が狭いのが難点。ソリが横にそれてしまうと、石垣や欄に突っ込みそうになります。息子たちは、このスリルのある坂で二人乗りをしたり、腹這いで滑ったり、時にはソリの上に立ち上がって横滑りをしたり、ブレーキもかけずに見事にコントロールして滑り下りていきます。スキー場でこんな滑り方をしていたら注意されるでしょうし、実際、ソリも1シーズンで壊れてしまいます。

見ている方がハラハラするので、「勝手に遊んで～」と私も時々様子を見に行く程度ですが、自分たちで新しい滑り方を考えて、年々レベルアップしているところに感心してまいります。(滑ってみたい方は、次の雪が降ったら、ぜひ遊びにきてくださいね♪)

子どもたちの遊び様子を観察していると、毎日同じように遊んでいるように見えても、少しずつ工夫されていることに驚かされます。息子たちは、お気に入りの切り株の側に秘密基地を作っているのですが、作っては壊れての繰り返しで、現在3回目の挑戦です。初代は、長い枝を組み合わせただけ。二代目は、ツルで枝を編んで、少し丈夫に。現在は、さらに丈夫になっています。端から見れば完成度は低いですが、「考える→やってみる→失敗する→工夫して再挑戦」の過程に意味があるのかなと考えています。

